



ふれあいネットワーク

社協 まつもと

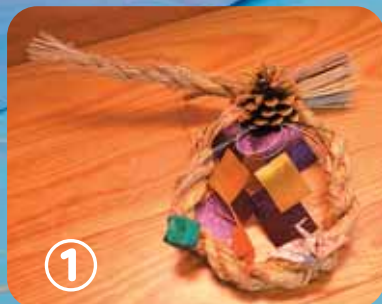


私にもできる安全・安心な地域づくり

2019

1月

No.221



①



②



③



地域福祉の向上を推進

松本市社会福祉協議会会長

渡辺 聡

新年おめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から地域福祉の推進に取り組む当会の諸事業に対し、ご理解、ご協力を賜り、深甚なる感謝を申し上げます。

さて、昨年は大阪府北部地震をはじめ、西日本を中心とする7月豪雨災害、北海道胆振東部地震などの地震や風水害などが各地で発生し、自然災害の多い年でありました。

松本市では、糸魚川・静岡構造線の活断層上に居住しているため、突然の自然災害に備えた危機管理が喫緊の優先課題となっています。また地域内、家庭内のつながりの希薄から公的サービスだけでは困りごとのすべてに対応することができなくなったため、互助や共助に基づく地域での支え合いの仕組みづくりに向け、地域において日頃から人や近隣とのつながりを大切にし、地域の絆を深めていくことが重要となっています。

こうしたなか、住民が主体となつて活動を行うための参加計画である地区別地域福祉活動計画の策定や推進のため、地区活動の方針を示し、関係職員が一体となった取組みを実践することとしました。さらに、松本市からの委託を受けて、地域での生活支援サービスを取りまとめて促進していくリーダー的役割を受け持つ、生活支援コーディネーターを配置し、日常生活支援体制の整備充実を図ってまいります。

新たな年を迎えるに当たり、地域における多様な生活課題に対応するとともに、市民の皆様を始め、関係機関・団体等との連携を図りながら「誰もが安全・安心に暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて決意を新たに、役職員一丸となつて取り組んでまいりますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、ご健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

みんなで進める

地区別地域福祉活動計画

本郷地区で、昨年度策定し、今年度から実施している「地区別地域福祉活動計画」を、地区の皆様にご理解していただくため、文化祭で推進状況をまとめ展示しました。

特別なことをするのではなく、各町会で現在取り組んでいる事業や活動が、すでに計画の推進につながっていることが見て分かる表にしたことで、文化祭に訪れた住民の皆様が、本郷地区の福祉活動に関心をもっていただき、これから計画を実現していくのに役立てることができそうです。



ボランティア活動から

地域づくりへ

ボランティアセンターでは、ボランティア活動について考え、趣味や特技を生かし自らも楽しみながら活動ができるよう、ボランティア講座「はじめよう!! ボランティア実践」を開催しています。

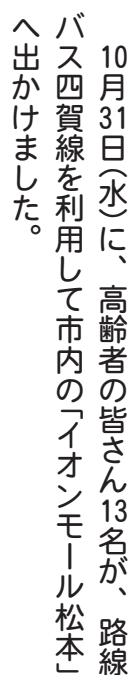
地域での支え合いのしくみが、様々なカタチで作られています。より身近な小さな単位で、お互いに役割を持って活躍できる場作り、関係作りができるよう、「ボランティアってなんだろう? 自分ならどんなことができるだろう?」について考え、活動を始めるきっかけになるように取組みを進めています。



今月の表紙は・・・

- ① しめ縄リース作り…高宮児童センターで地域の方に教えてもらいながら、しめ縄でお正月のリースを3人1組になって協力して作りました。
- ② 親子そば打ち教室…山辺児童センターと里山辺公民館の共催で行われました。そば打ち名人の指導の下一生懸命打ったできたてのそばを、みんなでおいしくいただきました。
- ③ 旭町小学校ミニ音楽会…北部デイサービスの利用者さんが、ご招待を受け小学校へ出かけ、音楽会を鑑賞しました。元気な歌声と楽器演奏を楽しんだあとは、校舎内を案内してもらいました。

コミュニケーション



バス停から歩いて移動し、食事や買い物を楽しみました。意外と簡単に行けることに驚き、バスの中で様々な乗客との交流で「こんな楽しみ方もあったのか」と宝をみつけたような喜びも束の間これも健康であればこそと感慨深い一日となりました。

路線バスの便利さと楽しさを知り、歩くことで体力づくりになり、これを機会に仲間同士が誘い合って自主的に出かけること、またバスの利用促進につながることを期待しています。



西部地区

11月10日(土)に、波田文化センターアクトホールで、「福祉と健康のつどい」住みなれた地域でいつまでも自分らしく生きるために」を開催し、西部地区の市民の皆様が地域の課題を再認識する機会となりました。

コーラスグループおきな草（奈川地区）の皆さんによる合唱や、参加者全員で「ふるさと」を思いながら歌いました。

引き続き、諏訪中央病院
高木副院長による認知症
について実例や歌を交え
た講演が行われ、参加者か
らもまた聞きたいと好評で
した。



日頃の活動に「奨励賞」

希望の家では資源物のリサイクル活用のため、アルミ缶を回収・整理しリサイクル業者に引き取っていたが、その代金を利用者の工賃となり働く意欲につながっています。

今回、長い期間にわたり

積極的に回収活動に取り組んできた利用者の皆さんの努力が認められ、アルミ缶リサイクル協会より「奨励賞」をいただきました。

この評価は、地道な作業ですが資源の循環サイクルの一翼となり、社会に役立っていることを改めて感じる良い機会となりました。

一人ひとりのサービス向上のために

11月20日(火)に、松本市介護保険事業者連絡協議会全体研修会が、浅間温泉文化センターで開催され大勢のケアマネージャーや地域包括支援センターの職員等が参加しました。

研修会では、作業療法士の砂川 剛さんより「リハビリ職」との連携について話を聞きました。誰でも年齢を重ね、病気などにより生活が不自由になったとしても、その人らしい生活をとり戻すために、本当の希望（ニーズ）を引き出し、自立やサービスの利用につなげられるような支援を目指して取り組んでいくことを確認しました。



高齢者支援人材育成講座 受講生募集のお知らせ

市民の皆さん誰もが、簡単にはじめることができる高齢者サポートのためのボランティア活動について学び、松本市や松本市社会福祉協議会の取組みについてご紹介する講座を開催します。ぜひ、ご参加下さい。

- 日 時 第1回：平成31年1月30日(水) 午前10時～12時
第2回：平成31年2月25日(月) 午後2時～4時
- 会 場 松南地区公民館3階 大会議室(松本市芳野4番1号)
- 対 象 市内にお住まいの方で、地域のボランティア活動・支え合い活動に興味のある方
- 内 容 第1回：講義①「楽しく、ためになる」医師の話！明日から話せる英語
講義②健康体操でリラックス♪
第2回：講義①地域の助け合い活動(生活支援体制整備事業)について
講義②有償ホームヘルプサービス事業について
- 定 員 60名(先着)
- 参加費 無 料
- 申込期限 平成31年1月25日(金)
- 問い合わせ・申込方法 松本市社会福祉協議会 ボランティアセンター 電話27-3381



日赤活動資金・赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

日本赤十字社の活動資金及び赤い羽根共同募金運動へのご理解、ご協力をいただきありがとうございました。

活動資金は、各種講習会(救急法・幼児安全法など)や赤十字奉仕団の活動費、災害支援をはじめ国際活動などに使われます。

共同募金は、31年度に長野県内の福祉施設での事業、35地区社協や松本市社協の事業費などに配分されます。



10月1日 松本駅前街頭募金

災害義援金の受付



昨年は、災害の多い1年でした。

日本赤十字社では、義援金の受付を継続して行なっています。市民の皆様からお寄せいただいた義援金は、被災者の方々へお届けしています。引続きご協力をお願いします。

松本市受付分：平成30年11月30日現在

名 称	累計額
東日本大震災	52,332,542円
平成28年度熊本地震	1,329,614円
平成29年7月大雨災害	335,875円
平成30年7月豪雨災害	645,281円
平成30年北海道胆振東部地震	209,809円

これからの行事のお知らせ

詳しくは、ホームページをご覧ください

事 項	期 日	場 所	問い合わせ先
休日つどいの広場	1月27日(日) 2月17日(日) 3月3日(日)	芳川児童センター つどいの広場なんぶすくすく	総務課 27-2000 なんぶすくすく 86-2857
はじめよう!! ボランティア実践塾②	1月19日(土) 9:30～16:30	松南地区公民館3階大会議室	地域福祉課 27-3381
ボランティア活動の集い	2月2日(土) 9:00～	松南地区公民館3階大会議室	地域福祉課 27-3381



発 行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 編 集 「社協まつもと」編集事務局
住 所 〒390-0833 松本市双葉4番16号
電 話 27-3381 FAX 27-2239 E-mail: syakyoum@avis.ne.jp
ホームページ <http://www.syakyo-matsumoto.or.jp> ブログ掲載中

『社協まつもと』はみなさんからの共同募金の配分金で発行されています。